

経営探訪

株式会社 ユーホク

爽やかな笑顔が印象的な本社工場の社員たち。近隣の市町村で暮らす彼らにとって、ユーホクは雇用創出の一助になっている。



地元を愛する働き手にやりがい・生きがいを 少数精鋭で挑み続ける未来創造

鉄骨工事・金物工事・耐震補強工事などを手がける株式会社ユーホクは、秋田県湯沢市から主に関東圏での仕事を受注して成長している。郷土を大切に、そこで暮らす人々を尊重し、なおかつ中小企業が生き抜く術を模索する中で磨き上げた経営スタイルだ。お客様と地域にとってなくてはならない会社であるために、ユーホクは未来に挑み続ける。



代表取締役
奥山 孝直
Takanao Okuyama

鍛冶屋から鋼構造物工事業へ

湯沢市稲庭地区、稲庭城のほど近くにある株式会社ユーホクはのどかな田園風景の中に位置する。ここに事務所と3棟の工場を構え、県外は埼玉県越谷市に関東支店を置く。同社の原点は昭和33年に父・小野寺幸一氏が創業した鍛冶屋にある。近隣の包丁や鎌、農耕具などの刃物鍛冶仕事からスタートし、やがて鉄骨加工へと幅を広げた。そして昭和62年、「小野寺鉄工所」を設立し、平成13年に「ユーホク」へと社名・組織を変更。2代目社長に長兄・小野寺幸男氏が就任した。

ユーホクの主戦場は県外。関東と東北とで売上の8割を占めている。この業態について、奥山社長は「秋田においては冬の仕事が極端に減る。それならば、通年でニーズが見込める関東圏に仕事を求めればよい」と考え

たと語る。平成14年に埼玉県川口市に関東事務所を設立。これを切り拓いたのが兄・幸男氏であり、兄弟が両輪となって、理想を徐々に現実のものとしていった。ところが平成20年、幸男氏は惜しまれつつ早世。父・兄から受け継ぎ、孝直氏が3代目社長となった。

高い溶接加工技術を武器に信頼を獲得

これまでユーホクが手がけてきたのは中規模クラスのビル等の建築物、中でも、構造が特徴的なもの、意匠を凝らしたものが多い。その最たる例が神社仏閣の新築や補強工事。木材を基調とした神社建築の様式は不変ながら、その内部は時代とともに耐震や防火のための構造が必要となってくる。いかに伝統を侵さず、最新の技術・構造を内在させるかが腕の見せ所だ。美しい曲線を描く神社の大屋根を鉄骨で組む際は、部材間の

連続的な寸法変化を滑らかにするべく、同社の高精度な溶接技術が活かされている。そして重ねた実績には、靖国神社教職舎、成田山新勝寺、東京・紀伊国屋書店ビルやミャンマー連邦共和国大使館、静岡・熱海迎賓館など、秋田県の企業と結びつこうとは想像しえないものがある。

同社の心臓部となるのは3棟の本社工場。依頼元からのオーダーに合わせて製図し、溶接や曲げ加工を施す。現場での工程を想定して、作業のしづらさや手順の破綻を徹底的に解消する。「工場内では、ロボット・機械・手作業の中から最適な工法を選んで作業しています。どんなサイズでも対応できるように技術を積み上げてきたことが我が社の強み。ゆがみやひずみを起こさせない溶接技術を有しているの、正確でロスの少ない仕事ができます」と自信を見せる。時には一工事あたり600tもの鉄骨を加工して送り出しているが、社長直轄の検査室によって品質管理にも抜かりない。実績が次のきっかけを呼んでさらなる実績を積み上げる、信頼を獲得し、関東での受注を継続できている所以だ。

稲庭を拠点に、将来展望を考える

稀有な成長過程を辿るユーホクの財産、それは人材だ。工場働く者にとって、機械の知識や溶接の技術などは大事な事。しかし、奥山社長は何より先に姿勢を定める。「何故人は働くのか？自分は何のために働くのか？」を一人一人に問いかけ、答を探させる。それぞれが自分なりの答を掴む中で、経営理念につながる答を見出した社員は企業の成長と個人の成長が同調し、やりがいや達成感につながる。他者と共通の要素を見つけた社員はお互いをよく理解し、尊重し合い、円滑な連携体制を生む。地元を愛し、地元で生きるからこそ、少人数だからこそ構築できる組織力だ。

また、一度県外に出て、秋田に戻ってくる人材も積極的に採用している。外で自分を磨き、外から秋田を見つめた経験を持つ人間は、働く理由が明確で揺らがないからだ。新しい力を探り入れ、緩やかに代謝を図りながら、かつて10人を切ったこともある組織は徐々に堅固になってきている。

がんばる社員を企業も支える。結婚や出産、子育てにあたってのお祝いや手当てを厚くし、家族を養いながら働くことを物心両面で応援する。地域・社会にとっての会社がどうあるべきかを考え抜いたユーホクなりの1つの答だ。

社長就任から10年、災害や経済危機などの困難も社員の知恵と工夫と根気でどうにか乗り越えられてきた。そしてこれからは見据えたとき、ユーホクとして決して変わらないこと、それはこの稲庭の地で成長することだ。今よりいっそう、地域に根を太く張り、社会に貢献し、愛される企業になりたいと願っている。さらなる顧客を開拓し、如何に効率と利益率を上げるか、そのためにどんな武器を備えて磨くべきか。小さな組織が挑む次なる10年の成長曲線は、稲庭の澄み切った高い空に吸い込まれていく。



- A ロボット溶接機は24時間体制で稼働し、並行作業で効率を高める。
- B ものづくりの原点である溶接作業もユーホクの自慢の技術力だ。
- D 高さに余裕のある天井クレーン付きの工場。

株式会社 ユーホク

〒012-0107 秋田県湯沢市稲庭町字早坂下5-1
TEL 0183-43-2039 FAX 0183-43-2047
E-mail yucad-1@xpost.plala.or.jp
URL http://yuuohoku.jp

関東支店
〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町3-118-2
TEL 048-940-6246 FAX 048-940-6247
E-mail yuuohoku-2@bz03.plala.or.jp

- 創業/昭和33年4月
- 資本金/3,500万円
- 従業員数/22人
- 営業品目/鉄骨工事 金物工事 耐震補強工事